

調書1 補助金等調査表（チェックシート）

所属 高齢者福祉課

（1）補助金の内容

名 称	老人クラブ補助金		
交 付 開 始 年 度	昭和55年度	終了予定年度	
交 付 先	単位老人クラブ（48） 浦安市老人クラブ連合会		
交 付 の 目 的 ・ 必 要 性	単位老人クラブが実施する文化、親睦及び奉仕に関する事業に対して補助を行う。単位老人クラブは、おおむね60歳以上かつ50人以上の老人で組織された、会員相互の親ばくと老人福祉の増進を図ることを目的とした団体であり、その目的を達するための事業を行うために本補助金は必要である。 浦安市老人クラブ連合会は、単位老人クラブにより構成された連合組織であり、各クラブの連携調整、活動支援、リーダー養成、調査研究、啓発・広報活動等を行うために本補助金は必要である。		
対 象 事 業 の 内 容	文化・健康・スポーツなど「生活を豊かにする楽しい活動」と、友愛訪問、社会奉仕活動など「地域を豊かにする社会活動」 老人クラブ連合会が実施する文化、親睦及び奉仕に関する事業		
形 態	☒ 事業補助 ☐ 運営補助 ☐ 混合補助 ⇒ 割合が大きいのは ☐ 事業補助 ☐ 運営補助		
直 近 の 見 直 し 状 況	見直した時期	令和6年度	
	内 容	補助金額の見直し 活動の活発化に合わせて補助上限を約1割上乘せした	
交 付 申 請	受領書類	☒ 事業計画書 ☒ 収支予算書 その他（ ）	
	確認内容		
実 績 報 告	受領書類	☒ 事業報告書 ☒ 収支決算書 その他（ ）	
	確認内容	帳簿、領収証等により確認している	

補助金等調査表（チェックシート）

（２）補助金見直しの基本視点に基づく評価

（※具体的な根拠指標には、設問に対する評価根拠となる、成果等を示す数値的な指標を記載すること）

公益性	補助事業が、客観的に見て、より広く市民等に利益をもたらす、または還元されている。	評価 特定の個人又は集団に利益をもたらす	評価の理由・具体的な根拠指標 老人クラブ連合会が実施する事業は、会員向けの健康増進、生きがいづくり、社会参加の推進のほかに、地域交流や文化芸術の普及を目的として広く市民等に利益をもたらしている。また単位老人クラブの健全運営の支援も行っている。
	補助事業の目的が、時代や社会情勢に合っている。	評価 ほとんど合っている	評価の理由・具体的な根拠指標 今後、本市の高齢化が進展する中、高齢者の居場所、生きがい、仲間づくりと、地域の担い手としての活動の拠点づくりに役立っている。
必要性	補助金を交付する形で、市が関与する妥当性がある。	評価	「ある」→妥当性について記入。 「ない」→妥当性がないにも関わらず補助する理由を記入。
		ある	自治会と共に地域コミュニティの核となる団体として期待される。
	補助金がない場合、団体等は自主財源で事業を行うことができない。	評価	「できる」→自主財源で事業実施可能にも関わらず補助する理由を記入。 「できない」→補助金がないれば事業を実施できない理由・具体的根拠を記入
		できない	老人クラブの自主財源は会費のみであるため。
	市民ニーズが高いものである。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		高い	高齢者の居場所、生きがい、仲間づくりと、地域の担い手としての活動を実施することにより、高齢者自身の生きがいづくりの場として期待される。
	市民ニーズに即している。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		即している	高齢者自身の生きがいづくりの他、これまで質の高い経験を積み重ねた市民が活躍するための環境を整備することで地域の活性化につながる。
	補助金の意義について、的確に説明できる。	評価	「できる」→誰に対しどのような効果があるか等について記入。 「できない」→説明できない理由について記入。
		できる	高齢者の居場所、生きがい、仲間づくりと、地域の担い手としての活動の拠点づくりに役立っている。
	補助期限（終期）を設定している。	評価	「設定済」→設定年度とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。
		未設定	年度ごとの事業に対し補助し、毎年度精算するもの。今後も高齢化の進展に伴いより充実した活動を継続的に行っていくものと期待している。
	補助金申請に係る積算根拠が明確である。	評価	「はい」→積算根拠を何で確認しているかを記入。 「いいえ」→積算根拠が不明確である理由と今後の見通しを記入。
		はい	実績報告書、概算払い精算書、事業報告及び決算書について、その内容を精査し、適切であるかを確認している。

補助金等調査表（チェックシート）

施策との整合性	当該補助金は、市の政策目的や施策と整合している。	評価	「している」→どのような点で整合しているのか記入。 「していない」→整合していないにも関わらず補助する理由を記入。
		している	高齢者保健福祉計画の基本目標2 自分らしく豊かな生活を送るための (3) 高齢者の居場所づくりの施策と合致している。
	補助事業が本市の特性を生かした取り組みである。	評価	「はい」→どのような点で特性を生かしているのか記入。
		いいえ	
公平性	事業を実施できる団体が他にない。（複数存在する場合、当該補助金がその事業者だけに交付される合理的な理由がある。）	評価	「はい」を選んだ理由
		はい	対象事業が国の老人クラブ活動等事業実施要綱に定める事業内容となっているため、ほかの団体が行う活動は対象とならない。
			「いいえ」の場合、補助金がその事業者だけに交付される合理的理由を記入。
	補助対象経費に対して、補助事業者等にも応分の負担を求めるべき事業には、一定の適切な補助率や限度額が設定されている。	評価	「設定済」→補助率とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。
		設定済	単位老人クラブについては会員数に応じた補助金上限額を設定している。 老人クラブ連合会 上限額405万円。
効率性	補助目的に見合った成果や、施策実現に向けた効果がある。	効果の測定方法・具体的な根拠指標	
		会員数、活動内容、事業参加者数、社会貢献活動数など	
		評価	評価理由
		ある程度の効果をあげている	これまで高齢者数の増加に伴い、会員数が一定の増加をしてきたが、活動の自粛により減少に転じてしまったため、活動の回復と同時に会員数の維持に努めていく。
	手法として、委託等の手法よりも、補助金を交付することがより合理的である。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		はい	「地方公共団体は、老人福祉を増進することを目的とする事業の振興を図るとともに、老人クラブに対して適当な援助をするように努めなければならない（老人福祉法）」「老人クラブ活動等事業の実施について（厚生労働省通知）」
補助対象経費の明確化	補助金対象内外経費が明らかになっているか。	評価	「はい」→何で確認をしているか記入。 「いいえ」→明確にしていない理由を記入。
		はい	収支決算書、帳簿・領収証等により確認している。
	補助対象外経費を補助対象としていない。（対象としている場合は、明確な根拠を持っている。）	評価	「対象としている」の場合、費目及びその根拠規定と対象となる考え方を記入。（※費目は、飲食費や慶弔費など）
		対象としている	飲食費：定例会における茶菓代一人あたり1回200円 会員または会員以外が集まり、高齢者の居場所として楽しい場となるよう必要と認める。

補助金等調査表（チェックシート）

※以下の項目は、団体補助金のみ記述。

団体補助金	団体の設置および活動目的が、補助事業からみて整合しているか。また、団体としての活動実態があるか。	評価	評価の理由
		はい	単位老人クラブ及び老人クラブ連合会が実施する文化、親睦及び奉仕に関する事業に対して補助を行うものであり、その活動実態は活動報告書や会議等で確認している。
	補助事業の内容と成果について、交付団体においても対外的に情報公開を実施しているか。	評価	「はい」→情報公開の手法等について具体的に記入。 「いいえ」→実施できない理由と今後の見通しを記入。
		はい	単位老人クラブの活動は、老人クラブ連合会が作成する定期会報に掲載されることがある。 老人クラブ連合会においてはホームページを開設している。
	団体内で、補助金の使途や決算などの監査機能が有効に機能していて、透明性等をもって運営されているか。	評価	「はい」→どのような監査手法で実施しているか記入。 「いいえ」→機能していない理由と今後の見通しを記入。
		はい	各クラブごとに会計や監査役員をおいている。連合会については毎年総会にて決算や監査についての承認を得ている。
	補助金交付団体の自立性を促すことなどから、運営補助から事業補助へ移行を図っているか。	評価	「運営補助」の場合、事業補助に移行できない理由と今後の見通しを記入。 ※混合補助で実施している場合は、割合が大きい方を選択してください。
		事業補助	
	市職員が補助金交付団体の事務を行っているか。（行っている場合は合理的な理由があるか。）	評価	「行っている」の場合、合理的な理由を記入。
繰越金	交付団体の補助事業会計において、補助金額以上の繰越金を計上している。 （※複数団体ある場合は、各団体を一覧化したものを別紙にて提出のこと）	評価	具体的な根拠指標
		いいえ	直近決算額における補助金額 10,874,183 円 繰越金額 1,003,744 円 { うち補助事業会計分 0 円 うち団体独自会計分 1,003,744 円
			繰越金額が生じた具体的な原因について記入。
		収支差額	
	上記設問において、「はい」の場合、補助金の減額ないし、休止などの必要な対策を考えている。	評価	「はい」→具体的な対応策について記入。 「いいえ」→対応できない理由について記入。

補助金等調査表（チェックシート）

（３） 国県要綱・近隣市補助金との比較を通じた評価

近隣市でも補助金を行っており。県補助金交付要綱に沿って補助している。

（４） 補助金の課題

補助金申請などの事務作業が複雑化する中、事務が負担だという声が会員からあがっており、毎年意見を聞きながら申請書類の簡素化について改善を図っている。

（５） 所属長の総合評価

今後、本市は急速な高齢化の進展が予測される中、経験豊かな高齢者の社会参加を推進する自主的・自立的な団体として老人クラブは文化・健康・スポーツなどの「生活を豊かにする楽しい活動」と友愛訪問や地域ボランティア活動などの「地域を豊かにする社会活動」を通じ、地域の好循環を生み出す地域コミュニティの一翼を担っているものと考えている。

（６） 補助金の今後の方向性

☒ 現行のまま継続
☐ 見直しをしたうえで継続
☐ 廃止
☐ その他

その他の内容

現行 継続の 理由	高齢者の健康増進や社会参加等、高齢者福祉の増進に寄与しているため
-----------------	----------------------------------

見直しの時期	
見直しの 内容	

廃止の時期	
廃止の理 由	